

# 低 学 年 委 員 会

## 研究主題

大事な言葉を考えながら読み、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の考えをまとめ、交流することで、想像を広げながら進んで読んだり書いたりできる力を育てる

ー交流を核とした主体的な言語活動を通して思考力をはぐくむ指導のあり方ー

## I 研究主題について

### 1. 研究主題設定の理由

低学年の児童にとって「読んで、想像したり、考えたりすることが楽しい、面白い」と感じる事が読む力の原動力になる。

文学教材で大事な言葉を考えながら読むには、まず、正しく読むことが求められる。正確に読むためには主述の関係を押さえて語のまとまりや言葉の響きを大切にしながら声に出して読むことが必要である。次に、読みを深め、進んで読んだり書いたりするためには「時」「場所」「登場人物」「何が変わった」などの基本的な構成要素を意識して読んでいくことが求められる。文学教材の展開に即して各場面の様子に変化したり、中心となる登場人物の行動が変化したりすることを挿絵と文章を結び付けて確かめながら読むことが大切である。読み進める中で、課題解決に適した大事な語や文を書き抜いたり、その理由を考えながら繰り返し読んだりする。さらには自分の経験を結び付けて、自分の考えをまとめ、その考えを交流する経験を積み重ねることで、国語科で付けた力を他の場面でも使ってみたいと感じる児童を育てることができると考える。

そこで、研究主題を、「大事な言葉を考えながら読み、文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の考えをまとめ、交流することで、想像を広げながら進んで読んだり書いたりできる力を育てる」とした。

### 2. 研究の視点

児童が学習目標に到達し、言語の力を身に付け、学んだことを実生活につなげることができる授業を創造するため、次の視点で研究を進めた。

研究の視点	具 体 的 方 策
<b>視点①</b> <b>教材文分析について</b>	<b>○付けたい思考力と指導事項の系統</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較・順序・理由付けの思考力を用いる。</li> <li>・指導事項の系統を踏まえ、前単元と本単元、次単元の関連付けを図る。</li> <li>・児童が楽しんで行い、付けた力を使ってみたいと感じることのできる言語活動を設定する。例えば、音読発表会、簡単な劇、感想（好きな場面）の交流、紹介カードや本の帯、ポップなどの成果物を紹介し合うなどの活動を通じて、表現する意欲を高め、友達と交流し、自分の思いをふくらませながら楽しさが感じられるようにする。</li> </ul> <b>○読みの課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初発の感想を生かし、学習課題を設定する。（興味、関心の高いもの・疑問）</li> <li>・登場人物の行動の変化と場面の様子の関係をとらえる課題を設定する。</li> </ul>
<b>視点②</b> <b>交流について</b>	<b>○話合い活動の目的（何のために）と内容（どんなことを）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のために自分の考えをより広げたり深めたりする。</li> <li>・板書やノートを用いて、視覚的に学習活動の目的と内容を見通せるようにする。</li> </ul> <b>○話合い活動の形態や方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア交流を全体交流の前に取り入れるようにする。</li> <li>・交流活動が慣れていない集団では、ペア交流がうまく進んでいる児童を数ペア取り上げて、話し合う様子を全体が観察できるようにする。</li> </ul>

	<p><b>○交流の場における発問や助言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想像を広げるような発問・助言を工夫する。例えば、場面と場面（挿絵）を比較して、「何が変わったのか。」をつかめるようにする。加えて、「どのように、変わったのか。」「どうして、変わったのか。（理由付け）」を考えることができるように発問や助言を行う。</li> </ul>
<p><b>視点③</b></p> <p><b>評価について</b></p>	<p><b>○交流の場における評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、学習課題（めあて）に対する、自分の考えを短い言葉でまとめることができるようにする。</li> <li>・学習活動（主に交流）を振り返って、自分の考えの変容（深まり・広がり）に気付くことができるようにする。</li> </ul> <p><b>○言語活動と思考力・判断力・表現力の評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えをまとめた学習ノートや言語活動を通してできた成果物の中に付けたい力（比較・順序・理由付けなどの思考力）がどのように身に付いているかを指導者が評価をする。</li> <li>・友達のノートや成果物でよいところを認め合えるようにする。例えば、タブレット端末で撮影して紹介し合ったり、付箋を使ってよい表現を取り上げたりできるようにする。児童の優れた表現を指導者が取り上げ、付けたい力について具体的にどのようによいのかを全体に認め広げるようにする。</li> </ul>